

令和6年度

境橋補修設計委託(繰越)

設計数量集計表

レベル1名称：橋梁保全工事

網走市

レベル1 (工 事 区 分)		橋梁保全工事		レベル2 (工 種)		橋梁補修工		数 量 集 計 表					
レベル3 (種 別) レベル4 (細 目)	レベル5 (規 格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考	
									合計				
伸縮継手補修工													
伸縮装置とい	工場製作品		箇所						4.0	4.0			
										4.0			
亜鉛メッキ加工品運搬	網走⇄札幌		回						2.0	2.0	資材費に含む。		
										2.0			
資材運搬経費			式						1.0	1.0			
										1.0			
支承補修工													
モルタル取壊し			m3						0.1	0.1			
										0.1			
コンクリートはつり			m3						0.1	0.1			
										0.1			
モルタル打設			m3						0.2	0.20			
										0.20			
(型枠)	小型構造物		(m2)	型枠の種類	構造物の種類			0.8	0.80				
				一般型枠	鉄筋・無筋構造物				0.80				
鉄筋	D13, SD345エポキシ樹脂塗装鉄筋		t						0.02	0.02			
										0.02			
ひびわれ補修工													
低圧注入工法	エポキシ樹脂 ポリマーセメント		橋						1	1	1-1		
										1			

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事		レベル2 (工種)	橋梁補修工		数量集計表						
レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内訳 数量表 別紙	備考
									合計			
断面修復工												
左官工法	ポリマーセメントモルタル		橋						1	1		
										1		

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	舗装工	数 量 集 計 表								
レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
コンクリート舗装補修工												
コンクリート舗装補修	弾性合材								0.03	0.03		
										0.03		

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事		レベル2 (工種)	構造物撤去工					数量集計表			
レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内訳 数量表 別紙	備考
									合計			
運搬処理工												
殻運搬	無筋コンクリート殻		m3	殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離		0.2	0.2		有限会社 伊藤産業 運搬距離：15.7km
				コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし	人力積込	無し	18.5km以下			0.2		

レベル1 (工 事 区 分)		レベル2 (工 種)		数 量 集 計 表								
レベル3 (種 別) レベル4 (細 目)	レベル5 (規 格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
防護施設工												
(足場)	吊足場		(m2)						106	105.5		
										105.5		
	中段足場		(m2)						39	39.3		
										39.3		
交通管理工												
(交通誘導員)			(人日)						2	2		
										2		

1-1 低圧注入工法 数量表

1

橋当り

内訳数量表

項 目	規 格	数 量 区 分			単 位	数 量		備 考
						全 体		
施工延べ延長					m	2.1		
注入材	エポキシ樹脂系				kg	0.1		
シール材					kg	1.7		
注入器具					個	36		

数量計算書

工事区分	橋梁保全工事	工 種	橋梁補修工	数 量 計 算 書 (1 / 5)		(資料図 No.)
種 別	細 目	規 格	計 算 式		数 量	単位
伸縮継手補修工						
			地覆部止水材取付図より			
	伸縮装置とい	工場製作品	4	= 4	4	箇所
	亜鉛メッキ加工品運搬	網走⇄札幌	2	= 2	2	回
	資材運搬経費		1	= 1	1	式
支承補修工 (モルタル打替)						
			支承補修図より			
	モルタル取壊し		0.180 × 0.040 × 6 箇所	= 0.04	0.1	m3
	コンクリートはつり (支承直下部以外)		0.180 × 0.030 × 6 箇所	= 0.03	0.1	m3
	モルタル打設		0.430 × 0.070 × 6 箇所	= 0.18	0.2	m3
	(型枠)	小型構造物	(1.030 + 0.610) × 2 × 0.040 × 6 箇所	= 0.79	0.8	(m2)
	鉄筋	D13,SD345	22.32 / 1000	= 0.02	0.02	t
		エポキシ樹脂塗装鉄筋	支承補修図 鉄筋重量表より			
	殻運搬		0.04 + 0.03	= 0.07	0.1	m3
	殻処分		0.07 × 2.350	= 0.16	0.2	t
			コンクリート(無筋)単位体積重量 2.350t/m3			
ひびわれ補修工					1	橋
			床版補修図、下部工補修図より			
	低圧注入工法	エポキシ樹脂系 (床版)	2.10	= 2.10	2.1	m
			延べ延長 別紙1 数量算出表(床版)より			
			0.009 + 0.035	= 0.04	0.1	kg
			注入材 別紙1 数量算出表(床版)より			
			0.630 + 1.050	= 1.680	1.7	kg
			シール材 別紙1 数量算出表(床版)より			
			16 + 20	= 36	36	個
			注入器具 別紙1 数量算出表(床版)より			

工事区分	橋梁保全工事	工 種	舗装工
------	--------	-----	-----

数量計算書 (2 / 5)

(資料図 No.)

[illegible]

工事区分	橋梁保全工事	工 種	仮設工
------	--------	-----	-----

数量計算書 (5 / 5)

(資料図 No.)

[illegible]

別紙-1 数量算出表

ひびわれ注入工数量 算出表（床版）

No.	幅 b (mm)	長さ L (m)	深さ h×1/2 (mm)	体積 V (m ³)	注入材 $\gamma=1, 150\text{kg/m}^3$ (kg)	シール材 0.3kg/m (kg)	注入器具 (個)	摘 要
1	0.20	0.400	40.0	0.0000020	0.002	0.120	3	床版補修図
2	0.20	0.200	40.0	0.0000010	0.001	0.060	2	〃
3	0.20	0.650	40.0	0.0000030	0.003	0.195	5	〃
4	0.20	0.850	40.0	0.0000030	0.003	0.255	6	〃
合計		2.100		0.0000090	0.009	0.630	16	

※注入材の比重は可とう性注入用エポキシ樹脂を想定している。

※シール材の使用量は、シール用パテ状エポキシ樹脂を想定している。

ひびわれ注入工数量 算出表（下部工）

No.	幅 b (mm)	長さ L (m)	深さ h×1/2 (mm)	体積 V (m ³)	注入材 $\gamma=1, 640\text{kg/m}^3$ (kg)	シール材 0.3kg/m (kg)	注入器具 (個)	摘 要
1	0.25	1.800	50.0	0.0000110	0.018	0.540	10	下部工補修図
2	0.30	1.700	60.0	0.0000150	0.017	0.510	10	〃
合計		3.500		0.0000260	0.035	1.050	20	

※ひびわれ深さは、鋼材の腐食に対するひびわれ幅の限界値として「コンクリート標準示方書」に示される推定値

0.005c（c：ひびわれ幅）とする。（一般の環境、幅b/0.005=深さhとする）

※体積については次式を用いる。 $V = b \times h \times 1/2 \times L$

「土地改良工事数量算出要領(案)」 令和3年度版 P15-2より

※低圧注入器具は、次式により算出する。

個数 = L（長さ） / 0.20（器具間隔 @ 200mm 程度） + 1

※注入材の比重はポリマーセメント系ひびわれ注入材を想定している。

※シール材の使用量は、シール用パテ状エポキシ樹脂を想定している。

[illegible]